

海水のモニタリング状況等について

2015年11月5日
東京電力株式会社

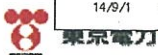
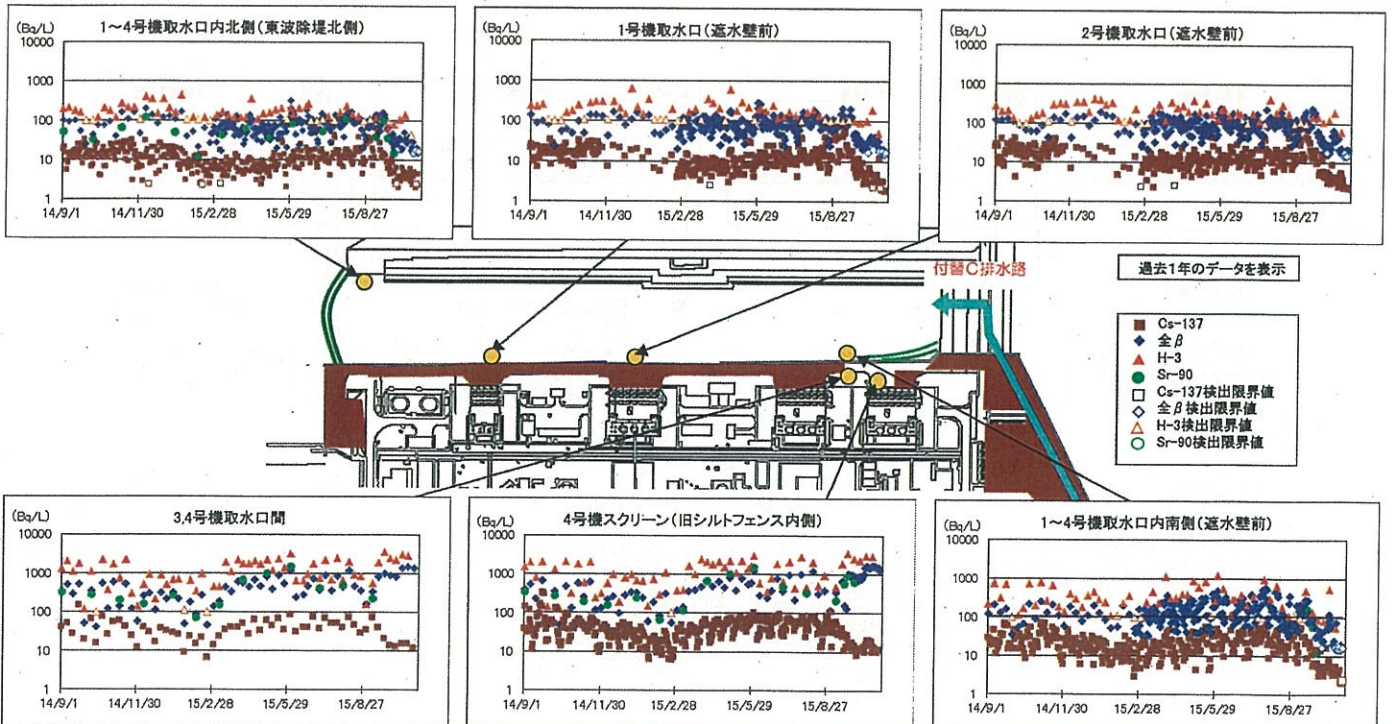


無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1

1～4号機取水口付近の海水サンプリング結果

- 海側遮水壁工事は、鋼管矢板の打設を9月22日に終了。継ぎ手部止水工事を10月26日に終了。
- 9月下旬以降、降雨の少ない状況が継続しており、1～4号機取水路開渠内のセシウム、全ベータは低濃度を継続。

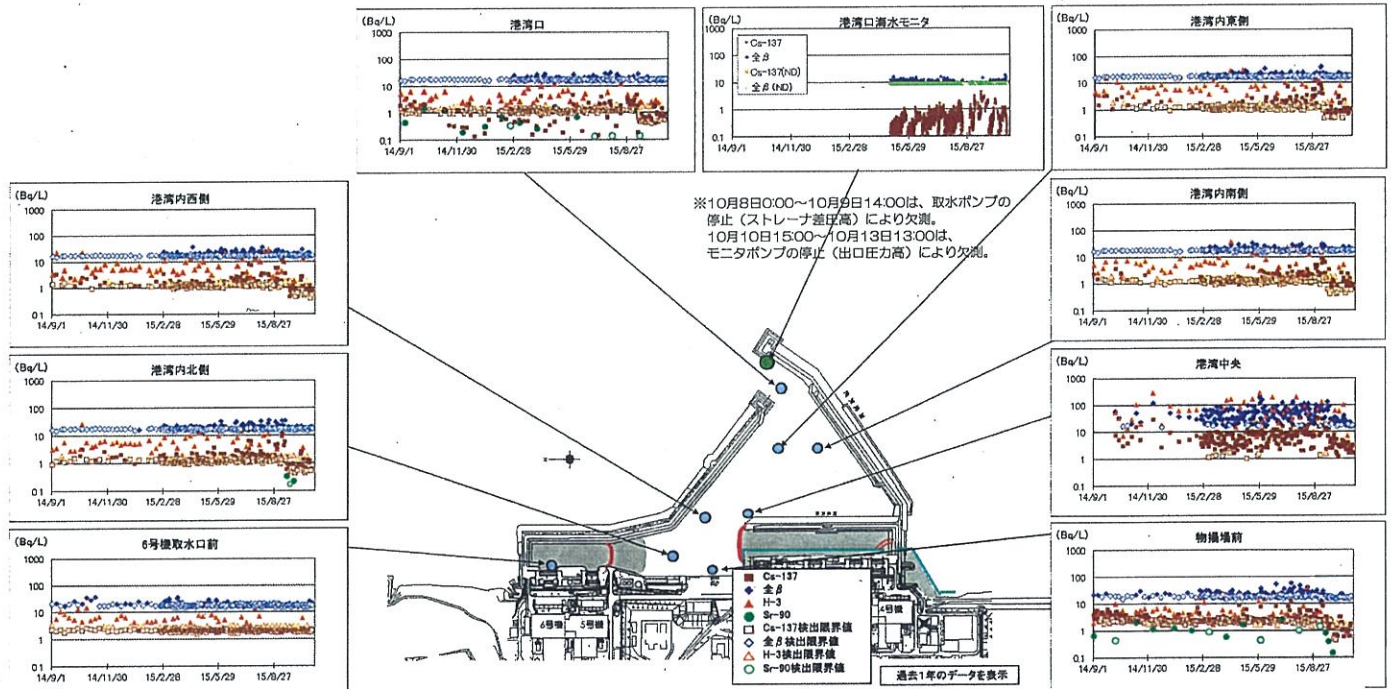


無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

2

港湾内の海水サンプリング結果

- 先月以降降雨が少なく、セシウム濃度は低濃度で推移。
- 9月14日より、サブドレン・地下水ドレン浄化水の排水を開始し、10月16日まで港湾口のトリチウム分析を強化していたが、海水中放射性物質濃度に変化は見られなかった。

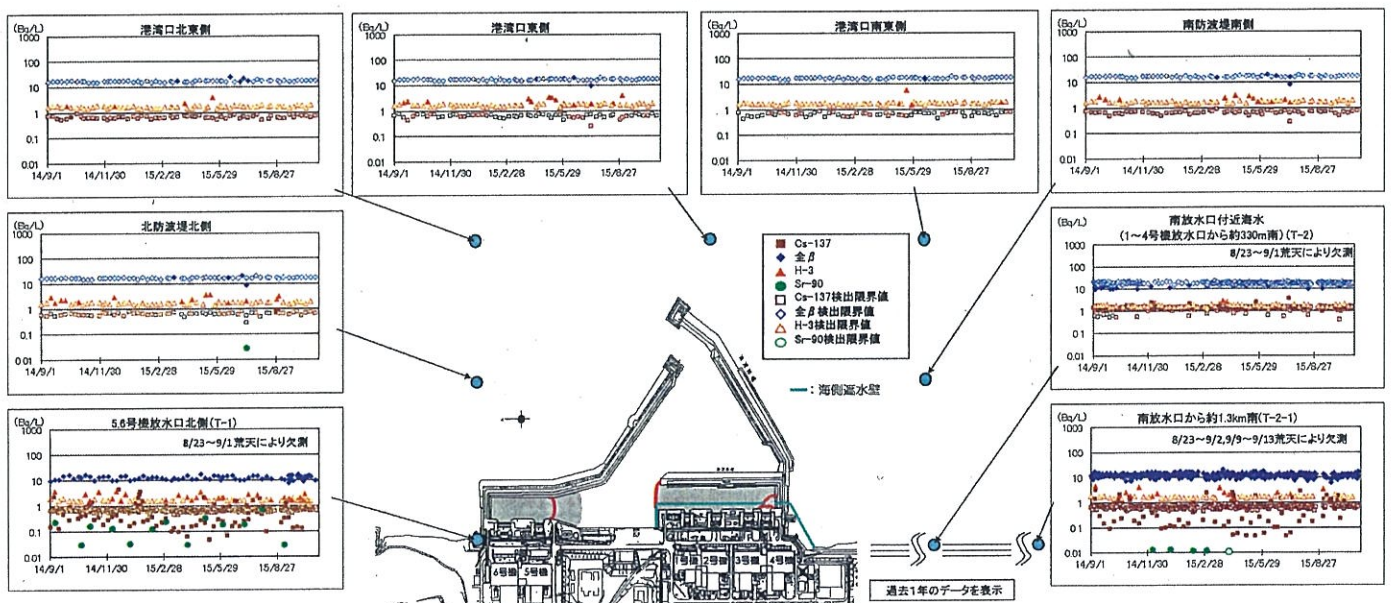


※ 港湾口海水モニタの検出下限値は、Cs-137が0.05Bq/L、全βが8.7Bq/Lであり、Cs-137の検出下限値はグラフの下限値未満でありプロットされていない。

東京電力 無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

港湾外（周辺）の海水サンプリング結果

- 港湾外の各採取点は、全体に低濃度の横ばい状態で、特別な上昇は見られていない。
- 9月14日より、サブドレン・地下水ドレン浄化水の排水を開始し、10月16日まで5、6号機放水口北側の全ベータ、トリチウム分析を強化していたが、海水中放射性物質濃度に変化は見られなかった。



注：海域における10Bq/L前後の全β放射能の検出は、海水中の天然カリウム（十数Bq/L）の影響を受けているものと考えられる。